

軽自動車

軽自動車が海外では、ほとんど走っていないことをご存知でしょうか。日本では当たり前にある軽自動車は日本独自の規格で、海外ではほとんど作られていません。新車販売の約4割のシェアで一番売れているのはN-BOXです。軽自動車の規格は全長3.4m以下、全幅1.48m以下、全高2.0m以下、排気量は660cc以下と定められています。人気の秘密は、やっぱり軽自動車税、重量税が安く燃費が良いところですね。

軽自動車が初めて販売されたのは昭和24年で、そのあと映画「ALWAYS3丁目の夕日」で有名なオート三輪ミゼットが昭和36年に販売されました。当時の価格は、228,000円で、その当時の年収ほどの価格だったので、大変高価な贅沢品だったそうです。その後、1979年に当時47万円でスズキのアルトが販売されたことで、軽自動車人気に火をつけたと言われています。運転初心者の方が乗るにはちょうど値段もサイズも良かったようです。農家の方には一番の稼ぎ頭の軽トラックが、スズキのキャリイトラックはその敏捷性により農道のフェラーリと言われています。軽バンと言われる箱型の軽は郵便局の車、配達業者の車で流通の面でも今やなくてはならない必需品となりました。

昔の軽自動車はダサい、狭い、遅い、坂道が登れないなどのイメージがありましたが、最近は格好が良く、室内も広く、ターボ車もありますから高速道路も十分走ります。そんな中、軽自動車業界に中国の電気自動車大手メーカーのBYDが参入してきました。長年続いた日本のお家芸の軽自動車勢力図に変革が起きる時が来たのかもしれません。

今、大阪で万博が開催されていますが、そこで展示されている空飛ぶ車が普通に走る世の中を見る日は近いかもしれません。



鎌野

世界は

アメリカがイランの核施設にバンカーバスターというミサイル兵器を使用して、核施設を破壊した様だ。これはもう、イランとアメリカ&イスラエルの戦争が始まったということです。トランプ政権発足前は、ロシアとウクライナの戦争を自分が大統領に再任されれば、24時間以内に停戦させると豪語していたトランプ大統領だが、それどころか状況は悪化して戦争は続いているし、イスラエルとパレスチナの件も拗れているし、インドとパキスタンも揉めている。世界中に火の粉が拡散し始めていると言える。

世界各国の軍事費は物凄い勢いで増えており、自国を真丸為の軍拡に走っている。これは第1・2次世界大戦前夜の状況とそっくりだと思う。トランプはもしかしたら、終末の使者なのかもしれない。何せ名前が賭けでどっち転ぶか分からない様な名前だ。人間という生き物は闘争を繰り返して、生き残ってきた動物であるから、闘争という遺伝子が体に組み込まれているのも当然だが、それを抑える理性と意思があると思いたい。でも現実が違う。明らかに世界は滅びに向かっている。

エネルギーや食糧不足、異常気象等の問題に現在の世界中で使われている軍事費を回せば、どれだけの人が助かるか、世の中が良くなるのか、分かっているやめられない、闘争（戦争）は人間のアイデンティティみたいなもので、人間の人間たる所以かもしれないが、もう先の余りない私としても、人類には滅んで欲しくはない。

日本は古古古米が美味しいだ、美味しくないだとか、国分太一が重大なコンプライアンス違反とか、そんなことがトップニュースになっている平和な国だけど、いつまでもそれが続くかは分からない。お花畑の住人ではありたいが、そのためにはやるべき備えとことがあると思う。50年後に日本が中国の東方省とかになっていないことを祈る。フランスの哲学者パスカルの「人間は考える葦である」という有名な言葉があるが、これは「人間は自然の中では葦のように弱い存在である。しかし人間は頭を使って考えることができる。考える事こそ人間に与えられた偉大な力である」という意味だそう。今その言葉に反して、「人間は闘う葦である」になりつつある。残念です。



英樹



配り

第
313
便

勝亦製材駿河鉄骨株

住まい塾御殿場教室

TEL (0550) 87-0048

FAX (0550) 87-1237

〒412-0035 御殿場市中山518番地

田園の水面に映る青い空一陣の風龍が昇る如く
ねがみともみ



降り荒ぶつりの外の面徒然に泰山木の苔を数う
勝亦りつ子



書かざるを得ない

〇〇せざるを得ない。という言葉がありますね。あることを「しないわけにはいかない」様を表します。「する」の打ち消しである「せざる」を「得ない」のです。ところがこれを「せざるお得ない」と間違っ書く人がいます。「せざる おとく ない」と読んでしまうこともありそうです。お得が無いなんてちょっぴり損した気分です。単に「お」と「を」を間違えて入力したのならばまだ良いのですが「お」で間違えて覚えている場合には、これは少々恥ずかしい。

パソコンのキーボード入力しているときには「角煮できました。」と変換されていることがあります。「確認できました」と打ち込んだはずなのですが、KA-KU-NI-NNの最後のNが打ち切れなまま進んでしまうようになってしまいます。先方に角煮を贈る羽目になるので送信する前に気づいて訂正しないと大変なことになります。そのまま送ってしまっ「炊き立てのご飯で待ってます！」なんて返ってくる関係性だったら素敵かもしれませんけどもね。

打ち間違いや誤変換だったり、コンピューターの日本語変換候補の選択間違いは今や日常茶飯事。特にSNSではよく見かけるので、意味さえ分かればあえて指摘もせず、にやにやとしてやり過ごしています。もちろん仕事のやり取りではそうはいきませんからしっかり推敲してからメール送信ボタンをクリックするようにしています。母国語は民族としてのアイデンティティです。やはり日本語は正しく使いたいですよね。

手書きで文章を書かなくなる時代になりました、自分の使っている日本語がおかしくないか時々見直してみることが必要かもしれませんね。

柳田敏和



半夏生



現在、二十四節気の夏至：6/27～7/1 頃七十二候の『菖蒲華(あやめはなさく)』・7/2～7/6『半夏生(はんげしょう)』となります。『はんげしょう』耳に心地よい響きです。

この文章はパソコンを使ってパシャパシャ打っております。パソコンは便利かつ正確です。人間が間違った操作をしなければ正確に仕事をします。エクセルの表計算などはまさにそれです。計算式を入力すればその通りに正確に数字が出てきます。例えばタダノ足し算が大量の数字でも、縦横の検算も、計算機で打ちこみ、途中、間違えて『あっ!』となり最初からやり直し、もない・・・もしかして途中間違えたのではないかという疑念も数字が残っているので、後でも確かめられる。ソロバンは暗算に役に立つが、『ご名算〜』。という言葉を書かないと安心できない私。パソコンは使いこなせば素晴らしい道具です。今はスマホ、これまた便利。スマホは電話機能もありますが、ほぼパソコン。アプリを使えば、世界中の人と繋がる、人間の欲はすぎましい。もうすでにスマホに語り掛ければなんでも答え、計算なんてお手の物かな。語り掛ける人間側にいろいろな意味で間違いがなければ。です。エクセルの表計算で正確に数字が出ることを習った時。おおこれは家計簿に使えるじゃないかと・・・使ってみた、が、1日の収支が合わない。ん？エクセルは間違わない。レシートもある。どこでなにをいくら使った？要は細かい出費を覚えていない。その日のうちに処理すればいいが、その日のうちにエクセルに入力できないこともある。まあ大体ね。が、まあまあいいかとなる。他人のお金、預かっているお金は、まあまあはダメだが。家の財布となると、まあまあ・・・。3日坊主でした。エクセルは間違わない。ちゃんと設定し入力すれば。人間関係よりわかりやすい。

ねがみ



枇杷

我が家の枇杷は昨年から実を付け始め、今年はたくさん実りました。初めのうちは摘実や袋掛けしたのですが、数が多く途中からは自然のまま。確かに手をかけただけ袋掛けしたものは大きく綺麗でした。来年は、数は少なくても良いので、大きく美味しい実になるよう剪定など調べてみようかと思う。

枇杷と言えば、「庭に枇杷の木を植えてはいけない」という言い伝えを聞いたことがある。これは、枇杷の木は大きくなるので「日当たりが悪くなるから」、健康に良いので病人が集まるので「病気をうつされる」、医者やお寺が健康に良い枇杷を一般の人が育てないように「悪い噂をながした」と諸説あるらしい。枇杷には、粘膜や皮膚の健康に役立つ「βカロテン」、体内の余分な塩分を体から出してくれる「カリウム」、骨粗鬆症を予防するβクリプトキサンチン、活性酵素を抑制する「ポリフェノール」、便秘の改善「食物繊維」が多く含まれており、確かに体に良さそう。しかし、何事も食べ過ぎは注意。お腹を壊すらしく1日5～6個が目安らしい。

祥子